

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラスおかば教室			
○保護者評価実施期間	2026年 8月 1日		～	2026年 9月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2026年 8月 10日		～	2026年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 10月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性や状況に応じた、多様な支援を行っていること	個々のこどもの状態や課題を把握し、個別活動と集団活動を組み合わせながら支援を行っている。また、活動内容が固定化しないよう、職員がアイデアを出し合い、様々な活動を取り入れている。	日々の支援記録やアセスメントをによる分析、こどもの成長や変化に応じて支援内容を見直すとともに、活動のねらいや支援方法について職員間でさらに共有を図る。
2	職員間の情報共有や連携を密に行い、チームで支援していること	毎時間の申し送りや支援後の振り返り、定期的な職員会議を行い、こどもの様子や支援方法について情報共有している。支援について気になることがあれば、職員間ですぐに相談できる体制を整えている。	職員それぞれの気付きや支援方法を共有する機会を継続するとともに、研修等で得た知識も職員間で共有し、事業所全体の支援の質の向上につなげる。
3	保護者と日常的に情報共有し、相談しやすい関係づくりを行っていること	トレーニング後に保護者との振り返りの時間を設け、当日の様子を伝えとともに、家庭での様子や子育てに関する相談を聞き、必要に応じて助言や情報提供を行っている。	日々の振り返りや相談対応を継続しながら、保護者のニーズを把握し、必要に応じて家族支援につながるような情報提供や相談支援を行い支援の質の向上を目指す。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムや保護者・きょうだい同士の交流機会が十分ではない	日々の支援後には保護者との振り返りや相談対応を行っているが、ペアレント・トレーニング等の体系的な家族支援や、保護者・きょうだい同士が交流する機会までは設けられていない。	日々の相談支援を継続するとともに、保護者のニーズを把握しながら、家族支援につながる情報提供を行う。現在子ども部会で保護者交流会について検討しており、保護者を対象にした研修、交流機会等について実施可能な方法を検討しています。
2	園・学校や地域との交流・連携の機会が限られている	園や学校等とは必要に応じて連携しているが、保護者の希望や利用状況によって連携の機会が限られる。また、地域交流については、利用児童・保護者のプライバシーへの配慮や、サービス提供時間中の人員配置・安全面等から、事業所へ地域住民を招く取組には難しさがある。	保護者の意向や児童の状況を確認し、必要に応じて園・学校等との情報共有を行う。地域との関わりについては、地域活動への参加等、事業所の状況に応じて実施可能な方法で交流・連携を継続していく。
3	第三者評価の実施やスーパーバイズを受ける機会が十分ではない	ハッピーテラス本部からの助言や定期的な研修、地域の子ども部会での情報交換・相談・ケース会議、地域連携室が実施する研修への参加等、外部から助言を受ける機会は確保している。一方、第三者による外部評価や児童発達支援センター等からスーパーバイズを受ける機会は設けられていない。	既存の研修の受講や地域との連携を継続するとともに、必要に応じてスーパーバイズを受ける機会について検討する。今年度から実施されるハッピーテラス本部による監査も活用し、客観的な視点から事業所運営や支援内容を振り返り、改善につなげていく。